

【令和元年12月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和元年12月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和元年12月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【製造業を中心に課題の深刻化・表面化が進み、業況は3ヵ月連続の悪化】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-13.5（前月-12.3、前年同月-14.2）で、前月比1.2pt悪化した。小売・サービス業では年末商戦の効果が確認されたものの、製造・建設業の業況悪化が響く結果となった。特に、製造業では前月までの先行きを不安視する声が今月数字へと表れた形となり、今後の動向が懸念される。

【製造業】

業況は-19.6（前月-13.7、前年同月-9.8）と前月に比べ5.9pt悪化した。機械金属業において以前から海外情勢の影響による業況悪化が不安視されていたが、原材料や輸送費の上昇・受注の減少等、具体的な悪影響が確認され業況は悪化に転じた。

【建設業】

業況は2.9（前月5.9、前年同月-11.8）と前月に比べ3.0pt悪化した。台風被害による修繕業務は引き続き対応しており多忙であるが、人件費の高騰や資材不足による資材仕入れ単価の高騰もさらに深刻化しており、業況を押し下げた。

【小売業】

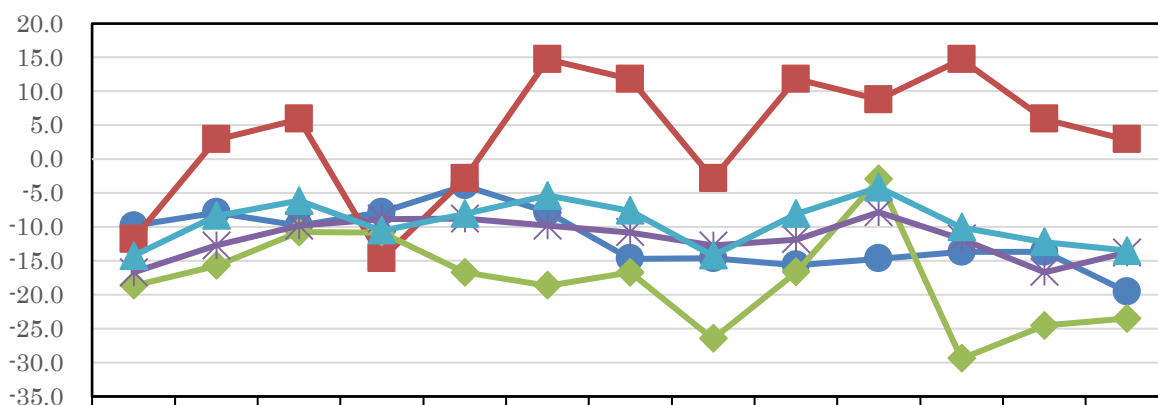
業況は-23.5（前月-24.5、前年同月-18.7）と前月に比べ1.0pt好転した。年末商戦につき、売上増加の声はあるものの、効果は限定的な印象となり業況は小幅回復にとどまった。その他、キャッシュレス導入への動きが浸透してきた様子が伺える。

【サービス業】

業況は-13.8（前月-16.7、前年同月-16.7）と前月に比べ2.9pt好転した。旅館業の年末年始における予約の増加と理美容業の年末需要の高さが確認され、業況を押し上げた。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：小磯・中村〕

<令和元年12月期 業種別業況DI推移表>



	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12
● DI値 (製造業)	-9.8	-7.9	-9.8	-7.8	-3.9	-7.8	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6
■ DI値 (建設業)	-11.8	2.9	5.9	-14.7	-2.9	14.7	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9
◆ DI値 (小売業)	-18.7	-15.7	-10.8	-10.8	-16.7	-18.6	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5
✱ DI値 (サービス業)	-16.7	-12.8	-9.8	-8.8	-8.8	-9.8	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8
▲ DI値 (全業種平均)	-14.2	-8.4	-6.1	-10.5	-8.1	-5.4	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5

<経営指導員コメント抜粋>

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・米中の貿易の影響か、中国からの機械、金属製造の受注量が減少している。(伊豆)
- ・人手不足、原材料費、輸送費の上昇への対応への不安とともに、景気の先行きへの不安を気にする声が多い。(富士駿東)
- ・今月も桜えび関連事業所は厳しい状況が続いている。(中部)
- ・高齢により事業を承継したいという意見が、主に製造業から増えたと感じる。(中東遠)
- ・鉄工業において受注が大幅に減少傾向。(西遠)

【建設業】

- ・引き続き台風被害により補修工事需要がみられている。(伊豆)
- ・人手不足の中、従業員確保に悩む事業者が多い。(富士駿東)
- ・当町における受注量は減少しているが、災害復旧予算の工事が増えてきている。(中部)
- ・資材の高騰が続いている上、人材不足も解消されていない。(中東遠)
- ・仕事の依頼はあるが利益が出るほどではない。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・売上は変わらずキャッシュレスで現金が少なくなった。カード売上が例年の倍近くに増えている。(伊豆)
- ・地域内消費が減少傾向である。軽減税率補助金(レジ補助金)やキャッシュレス関連の取組は依然遅れてはいるが、導入の相談は増加傾向。(富士駿東)
- ・年末商戦で若干売上が向上した(中部)
- ・商店街の年末年始の大売り出しやセールを活用して集客しているが、人の出入りは一昔前と比べるとかなり減少した。(中東遠)
- ・衣料品において、増税後の落ち込みは今月も回復基調である。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・年末の予約状況など例年と同等程度の売上であった。(伊豆)
- ・キャッシュレス決済対応について、クリーニング業では組合の主導による各店への導入に向けた動きがある。(富士駿東)
- ・年末とのこともあり理美容業が好転した。(中部)
- ・理美容業は年末の来客が多く、このタイミングで新サービスの導入を行い客単価UPに成功した理容店の話も聞いた。(中東遠)

小規模企業景気動向調査(令和元年 12 月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.7	-26.4	好転
売上	-0.1	-11.7	増加
仕入単価	17.6	20.6	低下
採算	-23.5	-26.4	好転
資金繰り	-14.7	-20.6	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.7	0.0	悪化
売上	-2.9	-8.9	増加
仕入単価	2.9	0.0	上昇
採算	-14.7	-8.8	悪化
資金繰り	-11.7	-5.9	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-35.3	-14.7	悪化
売上	-20.6	-2.9	減少
仕入単価	17.7	20.6	低下
採算	-8.9	-5.9	悪化
資金繰り	-14.7	-5.9	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	2.9	5.9	悪化
売上	5.8	8.7	減少
仕入単価	23.6	23.6	不変
採算	-8.8	-8.8	不変
資金繰り	-5.9	-5.8	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-29.4	好転
売上	-26.5	-44.1	増加
仕入単価	20.6	3.0	上昇
採算	-23.6	-35.3	好転
資金繰り	-26.5	-29.5	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-17.7	悪化
売上	-14.7	-26.5	増加
仕入単価	23.5	20.6	上昇
採算	-38.2	-41.2	好転
資金繰り	-23.5	-11.8	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-26.5	悪化
売上	-29.4	-32.4	増加
仕入単価	14.7	11.7	上昇
採算	-23.5	-17.6	悪化
資金繰り	-20.6	-14.7	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-17.6	好転
売上	-11.7	-14.7	増加
仕入単価	8.8	11.8	低下
採算	-3.0	-8.9	好転
資金繰り	-17.7	-17.6	悪化

9.洗濯業

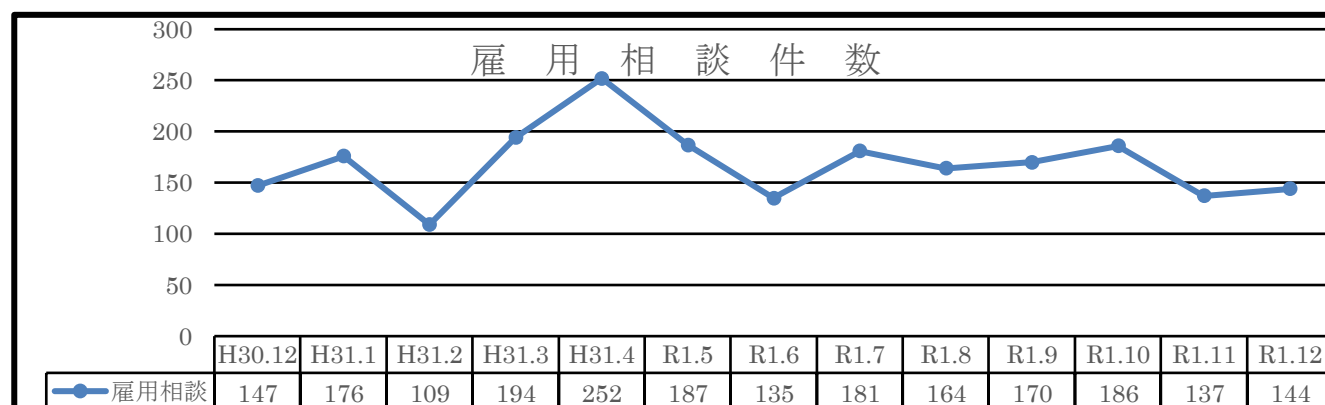
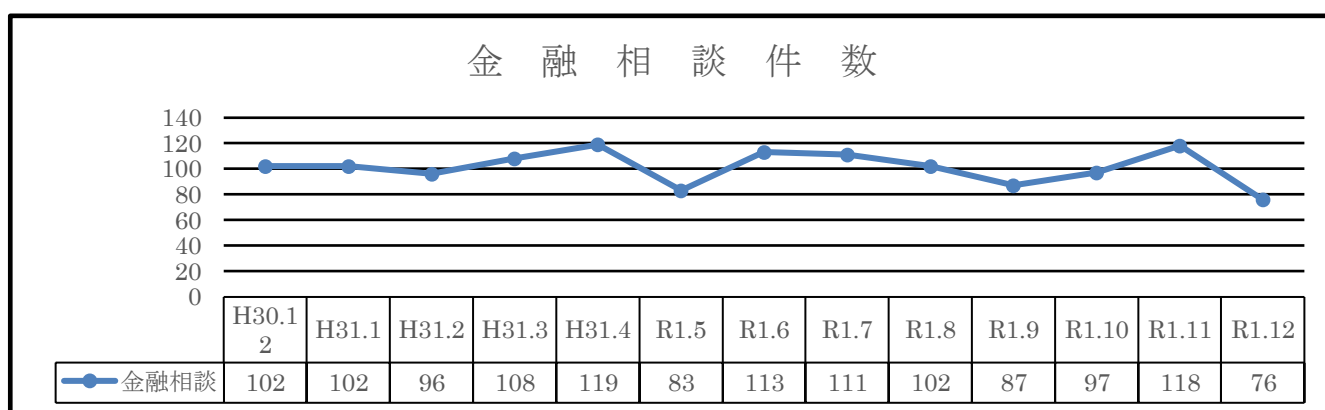
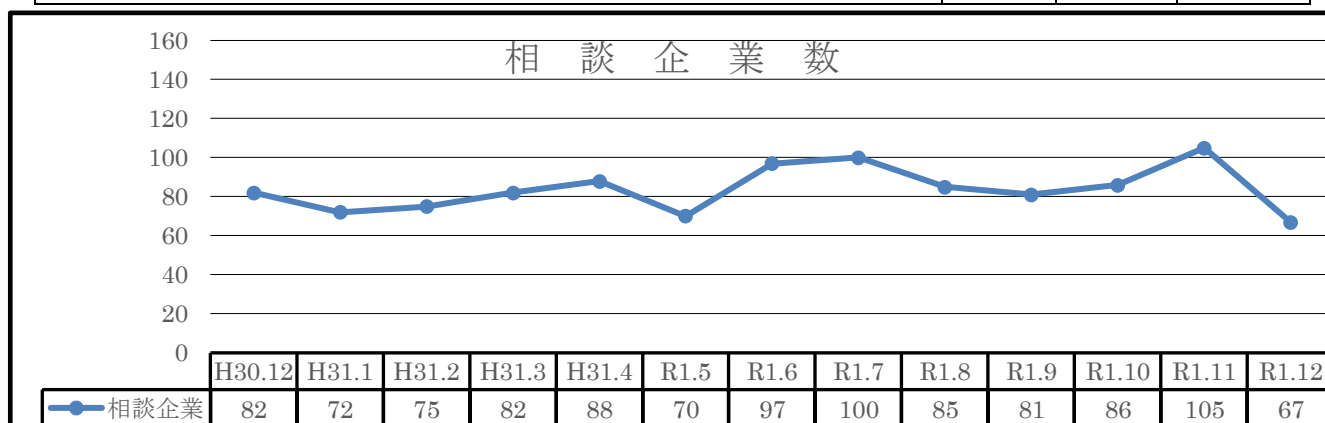
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.6	-23.5	悪化
売上	-23.5	-20.6	減少
仕入単価	20.6	23.5	低下
採算	-20.6	-20.6	不変
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-3.0	-8.9	好転
売上	-3.0	-8.9	増加
仕入単価	8.8	11.8	低下
採算	-5.9	-3.0	悪化
資金繰り	-8.8	-3.0	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(令和元年 12 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	67	105	-38
【金融相談件数】	76	118	-42
新規融資（借換えを除く）	45	72	-27
既存債務の借換え	28	37	-9
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	3	8	-5
【雇用相談件数】	144	137	7



【金融相談】

金融相談件数は、76件と前月(118件)に比べ42件減少した。年末に向けた資金相談は11月にピークを迎えたため、今月は融資実行後の経過対応がメインとなった。

<経営指導員コメント>

- ・11月は1日公庫などがあり金融相談があったが、12月は3件と少なく、1件がマル経相談であった。(伊豆)
- ・11月に開催した年末資金相談会の事後対応及びマル経対応を行った。(富士駿東)
- ・設備資金の融資が1件あった。マル経にて対応した。(中部)
- ・持続化補助金採択者の補助事業支払い資金相談があった。(中東遠)
- ・年末で多忙なためか借入の相談は普段よりも少なかったと感じた。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、144件と前月(137件)に比べ7件増加した。依然として多い働き方改革関連の相談に加え、年度更新相談や外国人労働者確保への動きなども見られ適宜対応した。

<経営指導員コメント>

- ・雇用取得2件、喪失3件と喪失(退職による移動)の方が多く相談があった。(伊豆)
- ・年度更新相談、雇用保険(被保険者資格取得・喪失)等、従業員の就業に関する相談に適宜対応。(富士駿東)
- ・働き方改革による関連法案に対する対応方法の相談が増加した。(中部)
- ・法人の代表取締役の同居親族の雇用保険加入について相談があった。(中東遠)
- ・外国人技能実習制度への理解が一步一步進み、派遣申請事業所からの追加申込の要望が出てきている。1月に定留外国人も含めた説明会を開催する予定である。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・12/8(日)「河津寄って軽トラ市 with にぎわい広場」を開催。通常の軽トラ市と行政事業を合同開催した今回は、多くの出店、多くの来場客でにぎわった。初出店者も多くあり、町内へ広くPRするために活用する様子が見えてきた。(河津町)
- ・温泉供給会社の事業承継も絡んだ弓ヶ浜温泉の供給ストップ問題が表面化、署名活動が始まり、町全体の争点に発展している。(南伊豆町)
- ・12/22(日)「富士マラソンフェスタ 2019(会場:富士スピードウェイ)」が開催され、商工会はおもてなし部会のメンバーとして、飲食出店業者の取りまとめを行った。(小山町)
- ・本年度伴走型小規模事業者支援推進事業として、個々の事業者が自社の強みを磨き経営力向上を実現する「一社一匠」に取り組んでいる。「創業塾」を11月に終了し、令和2年2月末までの事業期間中に、事業者個別支援、情報発信等の取組を進めていく。(富士市)
- ・2/2(日)に遠州横須賀凧揚げまつりを開催予定。(掛川みなみ)
- ・天竜浜名湖鉄道を舞台にした小説をきっかけとして観光地化し、集客に結びつけるプロジェクトを検討中。テレビ局にも打診し、最終的にアニメ化もしくはドラマ化などにも結びつけられれば経済効果が大きいと考える。(奥浜名湖)
- ・12月7日～24日の18日間、新居町商業協同組合・湖西市商工会・湖西市商業協同組合と合同で、歳末謝恩セールを行った。本イベントでは、お買い上げ500円毎に抽選応募券を1枚進呈、応募券を6枚集めて応募していただき、豪華賞品が当たる取組みも行い賑わった。(新居町)